

秋期「緑の募金」活動のご協力をよろしく願っています

春の募金活動に引き続き、令和4年9月1日から10月31日まで秋期の「緑の募金強化期間」が始まりました。

緑の募金は「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンとして運動が進められており、集められた寄付金は、国内外の森林づくりや次世代の担い手の育成などに大切に活かされています。緑の募金強化期間中は、募金運動を盛り上げ、緑化意識の高揚を図るため緑の羽根を着用していただきますようお願いいたします。

森林は、私たちに多くの恵みをもたらし、生活を豊かにしてくれます。活動の趣旨にご理解をいただき、ご協力をよろしく願っています。



緑の募金をお願いします

## 四国森林管理局 庁舎内の樹木の紹介

### アツバキミガヨラン

マリアー-APG等分類体系による キジカクシ科 イトラン属

エングラー-分類体系による リュウゼツラン科 ユッカ属

*Yucca gloriosa*

漢字名 別名  
厚葉君が代蘭 アメリカキミガヨラン 常緑低木  
雌雄異株



### オリーブ

マリアー-APG等分類体系による モクセイ科 オリーブ属

エングラー-分類体系による モクセイ科 オリーブ属

*Olea europaea*

常緑小高木～高木



## 四国森林管理局庁舎内の樹木の紹介

アツバキミガヨランは、北米西南部からメキシコ西海岸を原産とする常緑性低木で日本へ渡来したのは明治中期で洋風の庭園や公園等に植栽されています。「厚葉君が代蘭」という和名は、厚い葉を持つことと、学名の一部であるグロリオサの花言葉である「栄光」を「君が代は栄える」と解釈したものとされています。アツバキミガヨランの花期は春の5～6月、秋の10～11月に葉の間から大型の白色の多数の花を咲かせます。雄しべと雌しべは離れており自然状態では受粉しません。受粉にはユッカ蛾(日本に生息していない蛾でユッカ属の植物を好む)と相利共生(異種生物間にみられる協同作用のひとつで、お互いに利益を得ている場合をいう)の関係にあり、夜間雄花に潜り込み花粉団子を作り雌花に運んで受粉をうながし結実させて一個の卵を産み付け次の雄花に飛んでいき、その卵はやがて幼虫となりこの種子を食害しますが種子が大きいので大半を食べ残し、アツバキミガヨラン、ユッカ蛾ともに子孫を残すことができるサイクルを毎年繰り返します。

オリーブは、スペインやイタリアなど地中海地域で広く栽培され、古代から多くの文化的記録(旧約聖書)が残っている植物です。果実は多くの油分を含み主要な食用油の一つであるオリーブオイルの原料です。古代ギリシア語では「エライアー」(オリーブの木やオリーブの実を指す)あるいは「エライオン」(オリーブオイルを指す)、前者は古く「エライワー」のように発音されて、それをラテン語に借用した形が「オリーブ」で、日本語では基本的には英語やフランス語を音写した「オリーブ」と呼ばれるようになりました。日本では明治政府が明治11(1878)年に神戸で栽培を開始し、その後、四国では香川県の小豆島で明治43(1910)年頃栽培に成功しました。

一口メモでした。